

令和2年度事業報告書

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

I 教育研究助成事業

1 研究助成

(幅広い分野の独創的・先駆的な研究に対して必要な研究経費の助成)

No.	所属機関名	所 属 学年・氏名	研究課題名	助成額
1	八戸工業高等専門学校	産業システム工学専攻 1年 上野 晴奈	口腔癌患者のQOL向上を目的とした新規癌温熱治療装置の開発	200,000円
2	仙台高等専門学校	情報電子システム工学専攻 2年 片山 堅斗	微量放射能測定を実現する可搬型非破壊検査装置の開発	200,000円
3	長岡工業高等専門学校	物質工学専攻 1年 五十嵐 優	高齢者がん患者用診断・治療を目的とした光感受性化合物のフラスコ合成による機能化	200,000円
4	奈良工業高等専門学校	システム創成工学専攻 2年 宮奥 晃希	3DW-BOS法を用いた、衝撃波閉じ込め現象の定量的測定	200,000円
5	呉工業高等専門学校	プロジェクトデザイン工学専攻 2年 藤本 健明	縦渦駆動円柱翼風車における縦渦制御の技術開発	200,000円
6	高知工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 天久 海希	ウルトラファインバブルを用いたサーファクタントフリーエマルション作製技術に関する研究	200,000円
7	久留米工業高等専門学校	物質工学専攻 2年 吉瀬 里穂子	リン光発光性結晶の会合構造制御による白色発光の創出	200,000円
8	大分工業高等専門学校	電気電子情報工学専攻 2年 原尻 駿吾	簡素なナノ構造の光渦励起による多重極子型プラズモン共鳴とその選択性に関する研究	200,000円
9	都城工業高等専門学校	機械電気工学専攻 2年 内村 友宏	大規模量産化に適した希少金属・有毒元素フリーな新規Ag系化合物薄膜太陽電池の開発	200,000円
10	神戸市立工業高等専門学校	電気電子工学専攻 1年 長谷 元気	高密度・高効率・高信頼性を同時に実現する三巻線結合インダクタを用いた高昇圧比電力変換器の開発	200,000円

- 2 海外市場探究奨学金
(海外における産業、社会を積極的に探究する学生への奨励助成)
長岡技術科学大学の令和2年度海外実務訓練が中止になったため、実施なし。
令和元年度海外市場探究奨学金助成者による成果報告会も実施しなかった。

II 産学地域連携交流事業

1 産学地域連携事業支援

(1)長岡技術科学大学主催による講演会を後援した。

①「新型コロナウイルスを捕まえる Combating nCoV-19 on the front line of research.」

・開催期日：令和2年11月20日(金)

・開催方法：Zoom 配信

・講師：井上 雅文 氏 [The Experimental Drug Development Center (EDDC)
Agency for Science, Technology and Research (A*STAR) Singapore
Principal Scientist]

2 先端技術・施設見学会の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし。

3 産学地域交流会の実施

(1)技術開発懇談会を長岡技術科学大学との共催により実施した。

①・開催期日：令和2年11月11日(水)

・開催場所：上越市市民プラザ

・内 容：1. 「メタマテリアルによる光・電磁波の制御
～微細加工が拓く将来の情報通信技術～」

講師：玉山 泰宏 氏 [長岡技術科学大学 電気電子情報工学専攻 准教授]

2. 「長岡技術科学大学の産学官連携の紹介と話題提供
(チタン関連の塑性加工)」

講師：山崎 栄一 氏 [長岡技術科学大学 産学官連携コーディネーター]

・参加者：25人

(2)企業・学長交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし。

(3)企業・学生交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なし。

4 地域社会向け研究成果等活用事業の実施

長岡技術科学大学と連携して、同大学がもつ財産(研究成果、専門的知識、施設、卓越した人材)を積極的に地域社会に活用してもらうため、企業や市民のニーズによる講師派遣や、講座・出前教室等を開催することで、大学と地域住民の交流を深め、さらには人材育成、地域社会の活性化に貢献することを目的に、大学の施設を活用した水泳教室や大学教員の専門的知識を活用したスキー教室、大学のヨットを活用した講座等を実施する事業。

※ 水泳教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、大学のプールが使用禁止となったため、令和2年度は実施しなかった。

スキー教室は、小学生を対象とし、2月に2回(6日間)で計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

ヨット事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施なしであった。

III 同窓会事務請負事業

収益事業として、長岡技術科学大学同窓会の事務の一部を請け負った。

IV その他

財団の活動や事業案内を載せた情報発信紙「かわらばん」（年5回発行）は、令和2年度は休刊とした。

附属明細書

事業における重要な事項は令和2年度事業報告書に記載されており、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、当年度の附属明細書は作成しない。